

関 係 各 位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
核融合科学研究所長 山 田 弘 司
(公印省略)

特 任 研 究 員 の 公 募 に つ い て (依 頼)

このたび、当研究所では下記の要領で特任研究員を公募いたします。
つきましては、関係各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募について、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 公募する職種及び人員

年俸制職員（特任研究員） 1 名
適格者がいない場合は採用しないことがある。

2. 業務内容

ムーンショット型研究開発事業目標 10「2050 年までに、フュージョンエネルギーの多面的な活用により、地球環境と調和し、資源制約から解放された活力ある社会を実現」の研究開発プロジェクト「超伝導ダイポールによる先進核融合と反物質科学の学際展開」に関して、磁気圏型プラズマ装置 RT-1 において、154 GHz の 1MW ジャイロトロンを用い、電子サイクロトロン加熱（ECH）による高電子温度プラズマの生成から高密度プラズマの維持に接続するオペレーションの探索と RT-1 でのプラズマの計測器開発に従事する人材を求める。当プロジェクトは、RT-1 のダイポール型の閉じ込め磁場において、ECH で高密度プラズマを生成し、電子のエネルギーがイオンのエネルギーに輸送される状態を実現することを目的としている。上記の分野横断型研究に意欲があれば、これまでの研究分野は問わない。ただし、プラズマの生成実験やプラズマの計測器開発の経験を有することが望ましい。

採用後は、RT-1 において ECH を用いた高密度プラズマ生成に関連した以下のいずれかの研究・開発業務に取り組む。具体的な研究内容については、応募者の適性と研究の進捗を踏まえ適宜見直すこととする。

- (1) 電子密度、電子温度計測器の開発
 - (2) ECH による高密度プラズマ生成のオペレーション開発
 - (3) 磁気圏型高密度プラズマの最適な ECH 入射条件の探索
- (変更の範囲)

原則変更なし。ただし、核融合科学研究所に置く部署の業務に変更する場合がある。

3. 勤務地

(雇入れ直後) 核融合科学研究所（岐阜県土岐市下石町 3 2 2 - 6）
(変更の範囲) 変更なし。

※ 一部リモートによる勤務も可能

4. 希望事項

- (1) 博士の学位を有する者、又は着任までに取得見込みの者
- (2) 上記研究内容に取り組む意欲のある者

(3) 日本語又は英語により業務の遂行が可能であること

5. 公募締め切り

随時選考を行い、採用枠が埋まった時点で受付を締め切ります。

6. 雇用期間

令和9年4月1日から令和10年3月31日まで

(ただし、本プロジェクトが継続していることを条件に、業績評価及び研究計画等の状況により、更新する場合がある。なお、更新による雇用期間は最長令和12年3月31日まで)

7. 給与

年俸制を適用し、年額408万円(月額34万円)

(1年毎に行う業績評価結果に基づき、年俸を改定することがある)

※ 自然科学研究機構の規程に基づき、その他諸手当の支給あり

8. 選考方法

選考は、核融合科学研究所 URA 職員等選考委員会において行う。

選考においては書類審査を行い、必要に応じて面接を実施する場合がある。

面接を実施する場合の詳細は、書類選考を通過した者へメールで連絡する。

9. 提出書類

次の(1)～(6)の書類を電子ファイル(提出方法は下記10.参照)により提出すること。

(1) 履歴書：任意の様式による。可能な就任時期を明記すること。(写真添付、学位・取得学位名及び職歴を明記の上、連絡先にE-mailアドレスを記入すること。)

(2) 研究歴：任意の様式による。A4判 2ページ以内。

(3) 就任後の抱負：任意の様式による。A4判 2ページ以内。

(4) 研究業績リスト：リスト作成にあたっては、当研究所の「研究業績リスト作成基準」(当研究所ホームページ <https://www.nifs.ac.jp/about/recruit/> に掲載)によること。作成基準で示す項目に当てはまる実績は全てリストに記載すること。

共著の論文については、共著者名をすべて記入し、それぞれの論文について、レフリールによる審査(査読)を経たものであるか、否かの区別を明確にすること。

(5) 論文別刷：主要な論文(学位論文及び投稿中又は投稿予定を含む。)3編程度を添付すること。

(6) 参考意見を述べることができる方2名の連絡先：応募者について参考意見を述べることのできる方2名の氏名及び連絡先を記載すること。

上記の書類は、A4判横書きとし、それぞれ別葉のPDFファイルとすること。

なお、上記に加えて、選考の過程で書類の追加提出を求める場合がある。

10. 書類の提出方法

提出書類を準備の上、所定のフォーム※から必要事項を送信すること。

受付後、提出書類のアップロード先などを記載したメールを随時送信する。休日を除く3日以内にメールが届かない場合には、下記11.(1)の問い合わせ先まで連絡すること。

※ <https://forms.gle/jBvyJ2FMAFzvZMtj9>

11. 問い合わせ先

(1) 提出書類について

核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

電話 0572-58-2013(直通)

nifs-jinji@nifs.ac.jp

(2) 研究内容等について

核融合科学研究所研究部位相空間乱流ユニット

助教 矢内 亮馬

yanai.ryohma@nifs.ac.jp

12. その他

(1) 給与待遇は年俸制になります（年俸の1/2分の1を月額支給）。

(2) 本人事においては男女共同参画社会基本法の趣旨を尊重します。また、自然科学研究機構では、研究者の多様性を高めることにより、教育研究の質の向上に取り組んでいます。

- ・ 当研究所は、ジェンダー、国籍、年齢、文化的背景を問わず優秀な研究者が集まる多様性豊かな研究環境を整備するため、ダイバーシティを考慮した研究グループ構成やその環境作りに積極的に取り組むことを基本方針としています。研究・教育業績や人物の評価において同等と認められた場合には、女性と外国人を積極的に採用します。ただし、これは性別又は国籍のみで優先的に採用することを認めるものではありません。
- ・ 産前産後・育児・介護のための休暇・休業（育児部分休業、介護部分休業を含む。）の取得、または業務上もしくは通勤途上による傷病に起因する病気休暇・病気休職により研究を行うことができなかった期間がある場合には、履歴書等にその旨明記していただければ、業績を評価する際に考慮します。
- ・ 自然科学研究機構においては、若手研究者支援奨学金代理返還制度を設けています。制度の要件を満たし、承認された採用者については、日本学生支援機構による奨学金の代理返還を行います。
- ・ 受動喫煙防止の対策として、敷地内禁煙の措置を講じています。（ただし、屋外の指定箇所に喫煙場所を設置）
- ・ 自然科学研究機構における求職者等へのセクシュアル・ハラスメントに対する基本方針（https://www.nins.jp/open/post_11.html）に基づき、求職活動等に関する遵守事項を徹底します。求職者等の人格と尊厳を守ることを最優先とし、求職者等に対するセクシュアル・ハラスメント等には厳正に対処します。

以上